

平成 22 年度第 3 回成田市男女共同参画計画推進懇話会会議録

1 開催日時

平成 22 年 10 月 12 日(火) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

2 開催場所

成田市花崎町 7 6 0 番地

成田市役所 3 階第 2 応接室

3 出席者

(委員) 荻原委員, 小長井委員, 小森委員, 滝澤委員, 菅野委員, 宮野委員, 黒田委員
青柳委員, 衣笠委員, 星野委員, 五十嵐委員, 藤崎委員, 麻生委員

(事務局) 深山企画政策部長, 成毛企画政策課長, 神山企画政策課主幹,
設楽企画政策課主幹, 野呂企画政策課主任主事

(委託業者)(株)ワイズマンコンサルティング 山口 氏

4 議題

- (1) 第 2 次成田市男女共同参画計画の素案について
- (2) パブリックコメントの実施について
- (3) その他

5 議事(要旨)

第 2 次成田市男女共同参画計画の素案について、パブリックコメントの実施について、またその他として、男女共同参画に関するアンケート調査結果概要の報告、今後のスケジュールについて事務局から説明を行った。

6 質疑等

- (1) 第 2 次成田市男女共同参画計画の素案について

委員：個人的な意見になってしまうが、基本理念で「男女」と書いて「ひと」と読むのは、一般的なのか。他市町村の計画でもこういった表現を使っているのか。また、「なりた」はひらがなではなく、漢字で「成田」と書いた方が良いと思う。

事務局：「男女」と書いて「ひと」と読むのは、他市町村や講演会などの表題やスローガンなどに使われることがある。また「ひと」という表現は語呂が良く、柔らかいイメージを表現している。

委員：「なりた」をひらがなで書くと、土地名やイメージに結び付きにくいいため、漢字表記が分かり易いと思う。

会長：基本理念の「～ ～」は、サブタイトルに付くべき。

事務局：修正する。

基本目標Ⅰ（P23～P32）

会長：各事業の並びは変わるのか。例えば、P28 施策の方向性2の事業で、個性を生かす教育推進事業、個性を生かす進路指導等の推進、健康教育の充実、キャリア教育・・・という順番になっているが、個性を生かす教育推進事業、個性を生かす進路指導等の推進、キャリア教育、家庭科教育の充実、健康教育の充実、と事業の順番に関連性を持たせた方が良い。

事務局：特に順番は決まっていない。検討する。

委員：P23 の前回調査と比較したときに1%弱多くなったことを「高い」という表現は適正か。比較だけして、読み手に判断を任せた形でも良いと思う。

事務局：検討する。

委員：P26 の「国際的ルール・基準」というのはどういうことか。

事務局：世界の動きで記載されている条約や規範に基づいたルールのこと。

委員：P32 指標 女性救急救命士・女性救急隊員数で、平成27年目標値で「増加に努める」となっているが「努める」ことが目標になってしまうので、「増員」などの表現の方が良いかと思う。

事務局：「増員」に修正する。

基本目標Ⅱ（P33～P39）

委員：P35 指標 市男性職員の育児休業取得率の平成27年目標値10.0%は、低いように感じる。10人希望して1人だけが取得できるのは少ないイメージがある。また、あくまでも目標値であるため、数値を高く設定しても良いと感じる。評価する際に、下回っていても高い数値に向けて努力したならば市民は文句を言わない。

委員：市男性職員の育休はまだまだ取りにくいのが、最近では有休を取って、育児に専念したりなど意識が変わりつつある。

委員：育児休暇などは上司が積極的に取得していけば、部下も取りやすい環境になってくる。

委員：上司が、部下に対して育児休暇などを積極的に取るように働きかけも必要。

事務局：市職員内でも積極的に意識啓発を行い、環境整備に努める。この割合については検討したい。

委員：P37 指標 年間の時間外勤務360時間以上の職員数ゼロを目標にかかげているが、時間外勤務が無くなったからといって、みんなが育児に関わるわけではないので、保育所の整備数などを目標値に設定したらどうか。

事務局：担当課に照会し、検討したい。

基本目標Ⅲ（P41～P46）

委員：P45 事業の「生涯大学院開設」とあるが、もし 事業を開設していないなら、大学や大学院という表現をなるべく避けてもらいたい。

事務局：既に実施している。開設という表現は誤解を生む可能性があるので検討したい。

基本目標Ⅳ（P47～P51）

委員：P48 指標 審議会等への女性委員の登用率で、「審議会等」というのは、この懇話会も含まれるのか。

事務局：含まれる。

委員：それであれば、この目標値は引き上げるべき。

事務局：審議会等への女性委員の登用率については、ここ数年 20%後半を推移していることや、前回計画時の目標値である 30%との整合性を図るため、この数値を設定している。

委員：管理職への女性登用率はどのくらいか。また、指標化ができないのか。

事務局：管理職は平成 22 年 4 月現在では、部課長クラス含め 173 名中 11 名で 6.4%となっている。管理職への女性登用については、適材適所を目標としているため、数値化は難しい。

計画推進図（P53～P54）

委員：P54 の基本目標の「男女」にふりがなを振った方がよい。

事務局：修正する。

(2) パブリックコメントの実施について

(3) その他（男女共同参画に関するアンケート調査結果概要の報告、今後のスケジュールについて）

7 傍聴

1 名

8 次回開催日時(予定)

未定